

# あらよう通信

熊本県立荒尾養護学校  
特別支援教育  
センターだより No.6  
平成21年3月24日

## 今年度の取組を振り返って

今年度も荒玉地域の各学校、幼稚園、保育園に巡回相談、校内研修等で訪問させていただきました。今年度の傾向としては、小学校・中学校の巡回相談の依頼に加え、幼稚園、保育園からも小学校への移行期の相談が増えてきました。また、高等学校からも研修等の依頼があり、先生方の特別支援教育への関心が広がってきたように思います。一部ですが巡回相談等、支援の事例を紹介します。

### (保育所の支援事例)

年長児Aさんの場合

#### 巡回相談(1回目:9月)

(参加者:担任2人・担当者)

- ・担当者からの聞き取り
- ・保育参観(集合・呼名・ゲーム)
- ・支援会議(日課に沿った活動と支援・保小連携)

#### 巡回相談(2回目:2月)

(参加者:担任2人・担当者・療育相談員)

- ・保育参観(運動・カルタ・昼食)
- ・支援会議(行動切り替えの困難、視覚的手がかり、移行)

#### 小学校コーディネーター保育参観(3月)

#### 巡回相談(3回目:3月)

(参加者:担任2人・担当者・療育相談員・保護者・小学校コーディネーター)

- ・支援会議(園での様子、保護者の願いと学校生活への準備)

### (小学校の支援事例)

1年生B君、2年C・D君  
情緒障がい学級1年E君

#### 巡回相談(1月)

(参加者:全職員)

- ・授業参観(国語・算数・集会・生活単元学習など)
- ・校内委員会(特別支援学級授業研究会、演習「事例会議:C君」  
講話「校内支援体制づくり」  
資料「新学習指導要領」  
「支援チェックリスト」)

#### PTA教育講演会(3月)

(参加者:保護者・全職員)

- ・講演「特別支援教育  
～一人一人の子どもを大切に～」  
(個性ってなあに? /  
いま学校で / 特別支援教育)

### (地区コーディネーター会議の事例)

中学校区ごとにリーダーコーディネーターを中心に実施。

講話や研修会等と合わせての実施や保健師さんの参加も増えてきました。  
A町の場合

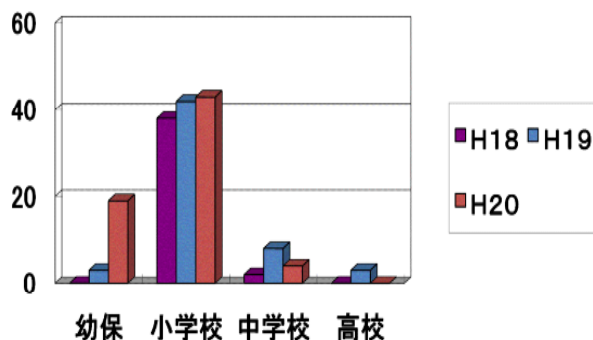
#### 1.講話:「A町の特別支援教育の推進」

#### 2.地区コーディネーター会議

参加者:各学校コーディネーター  
担当者・保健師

- ・各学校・園の幼児児童生徒の様子
- ・校内(園内)支援体制、移行支援などの情報交換

### 巡回相談件数(所属別)



### 延べ人数の増加

H.18(116人) H.19(115人) H.20(149人)

## コラム No.6 分かりやすい状況づくりについて

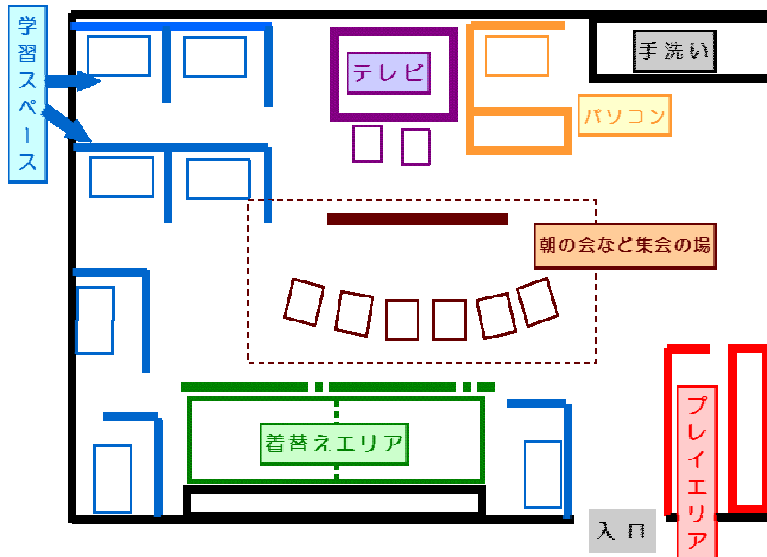
3月も終盤に差しかかり、卒業・進級のシーズンを迎えました。4月になると新学期スタートに向けて、いろいろな準備が必要になってきます。教室の設営もそのうちの一つです。本校では、主に自閉症の子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、教室の構造化、分かりやすい状況づくりを行っています。今回はその一部をご紹介します。

### 構造化とは... (参考：自閉症教育実践ガイドブック・LD学会関連用語集)

構造化とは、環境を障害特性に応じて、分かりやすく示す方法であり、活動にめあてや見通しを持ち、自立的に行動するための手立て、アイデアです。具体的には「物理的構造化」「時間の構造化」「活動の構造化」などがあります。

- ・「物理的構造化」は、活動と場所や場面を対応させ、今やるべき活動をわかりやすくしたり、集中しやすくします。
- ・「時間の構造化」では、あらかじめ活動の順番や場所(内容)をわかるように呈示し、見通しをもって自発的に活動できるようにします。一つの活動から次の活動へ移るときは、終わったことを確認できるようにしておきます。

### ある教室の例(小学部)



通常学級の場合、スペースの確保や準備など時間の確保が難しい場合が多いと思います。空き教室を一室まるごと休憩や遊びのスペースにするだけでもよいので無理のないところから始めてみましょう。

学習スペースは学級の数分用意しています。プレイエリアには絵本やクッションなど置いて、落ち着ける場として活用しています。朝の会など集会の場では大きいテーブルを置いて給食や調理活動の場としても活用しています。各エリアの仕切りは主にダンボールを2~3枚貼り合わせてブックスタンドで固定しています。(木製の棚なども使えます) 着替えエリアは畳を敷いています。使用する際はカーテンで仕切ります。

### ~書籍案内~

#### 「自閉症児のための絵で見る構造化」

佐々木正美 監修 出版：学習研究社 1,995円

自閉症児の  
ための  
絵で見る  
構造化

自閉症児が自分を取りまいている世界や情報を理解して、安心して自主的に行動し振る舞い、学習や生活することができるようにするためには、どうしたらいいのか、TEACHCHプログラムによる構造化の実際がイラストで示されているビジュアル図鑑。(上記のようなことがより詳しく書かれています)

### 熊本県立荒尾養護学校

〒864-0032

荒尾市増永西長浦2299-3

(TEL) 0968-62-1131

(FAX) 0968-69-1064

ホームページアドレス:

[http://www.edu-c.pref.](http://www.edu-c.pref.kumamoto.jp/sh/araoyogo)

[kumamoto.jp/sh/araoyogo](http://www.edu-c.pref.kumamoto.jp/sh/araoyogo)

メールアドレス:

[arao-y@bears.ed.jp](mailto:arao-y@bears.ed.jp)

担当者: 甲斐原 巖